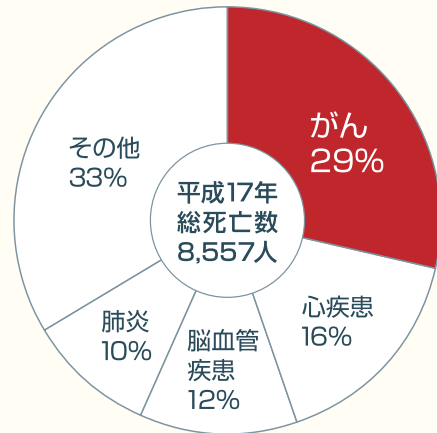


島根県内における がんの現状

がんは、死因の第1位で、約3人に1人はがんで亡くなっています。



人口10万人当たりのがん死亡率は334.4で、都道府県別では全国第2位です。(平成17年)

| 順位 | 都道府県名 | 死亡率(人口10万対) |
|----|-------|-------------|
| 1位 | 秋田県 | 337.8 |
| 2位 | 島根県 | 334.4 |
| 3位 | 山口県 | 324.3 |

がんで亡くなる人は年々増え、年間約2,500人に上っています。

| | |
|-------|--------|
| 平成17年 | 2,467人 |
| 平成16年 | 2,423人 |
| 平成15年 | 2,296人 |

がん患者サロンについて…

県内には13カ所のがん患者サロンがあり、患者間で交流を深めるとともに、患者や家族・遺族が他のがん患者や家族等の相談支援を行う取り組みを展開しています。

詳しい内容は下記県ホームページをご覧ください。

http://www.pref.shimane.lg.jp/health/kenko/iryu/shimaneno_iryu/gan/

がんは島根県における死因の第一位となっており、年間約2,500人の県民ががんにより亡くなっています。

また、男性の2人に1人、女性の3人に1人は一生のうち一度はがんにかかるといわれています。

がんの診断や治療には高度な医療機器が必要ですが、非常に高額なため、整備が進んでいないのが実情です。

そこでこの度、県民の皆様や企業の皆様から寄付を募り、がん診療連携拠点病院の医療機器整備などを支援する「がん対策募金」を始めました。



例:放射線治療機器

身近にいる大切な方をがんから守るためにも、この募金事業への皆様方のご理解とご協力をお願いします。

島根県では、がんが死亡原因の第一位です。がんの診断・治療及びその研究のための高度医療機器整備のための募金にご協力をお願いします。

財団法人 島根難病研究所
理事長 江口 博晴

皆様からの寄附金はこのように役立てられます。

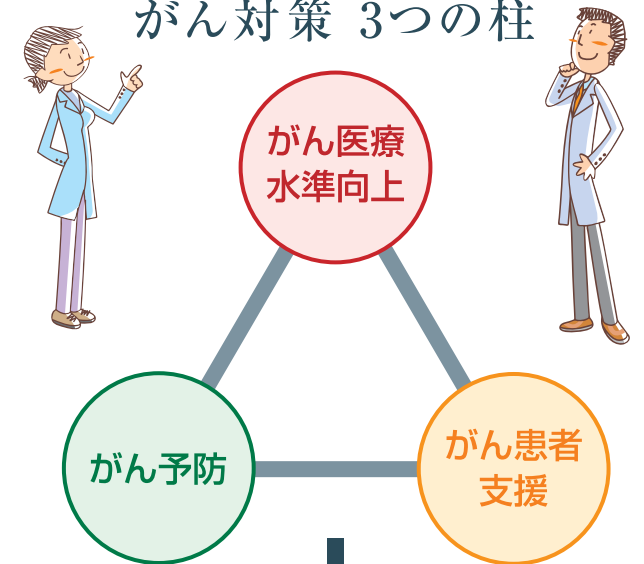
寄附金の振込み

医療機関への配分

医療機器の整備

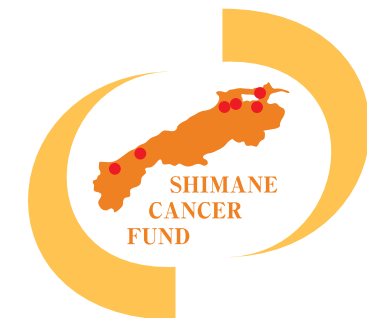
整備された機器によるがんの診断・治療

がん対策 3つの柱



「がん対策募金」は
「がん医療水準向上」のための
募金です。

シンボルマーク



支えるの意に含まれる「精神的」・「経済的」を2つの円で表しました。「島根で支えよう」という意味を込めています。